

広報

ふじかわ



9月号

●昭和63年9月5日発行 No.326

町のメモ

昭和63年9月1日現在	
人口	17,044人
増減	+11人
男	8,384人
女	8,660人
世帯数	4,495世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画調整課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩淵 121



自分で料理するって
楽しいことなのね

(子どもの料理教室)

町のことしの目標 「健康な心とからだで住みよい町に」



芹沢直美さんもすばらしいステージを見せてくれました。



ちびっ子のヒーロー「ジライヤ」に、子どもたちは自分の夢を託します

みなさんにとって、このお祭りは何だったんでしょうか。単なる花火見物のお祭りではなかったと思います。豊かな風土と恵まれた環境の中で「富士川町の人は、おとなしい」と言われています。しかし、みなさんの心が一つになり、一丸となってお祭り

力強い団結を町づくりのために

「88ふじかわ夏まつり」は、商工会、役場、区長会、農協、婦人会、交通安全協会や各種団体などで組織された運営委員会や実行委員会で、いろいろな意見を出し合って、イベントを企画したり、準備、運営に努力されました。また、この夏まつりが成功した陰に、同委員会のかたがたのほかにも、準備・運営などに大勢のかたがたの大きな力があります。本当に、ご協力ありがとうございました。そして、おつかれさまでした。

成功の陰に大勢の人の力が

に望んだ情熱は、これからの町づくりのために、大きなパワーとなることでしょう。町制九十周年も三年後に控えています。「何かしよう」という気持ちや力強い団結を、町づくりのために生かせば、富士川町も二十一世紀に向けて限りない前進を続けることができます。

故郷の音色 祇園ばやし

オープニングを飾ったのは旭町祇園ばやし保存会（小泉国雄会長）によるおはやしの演奏。この祇園ばやしは三百年の歴史をもつと伝えられ、岩淵地区、八坂神社の祭典において、上町・舟山町・坂下・旭町・相生町がそれぞれの屋台で夜を徹して太鼓・笛・かねで賑やかにばやし、屋台どろしがすれ違う時、調子のいい、得意な曲を演奏するおはやしのせり合いは、だいたい味がありました。

しかし、交通事情も変化して、屋台を繰り出すことは、ほとんどなくなり、おはやし

来年も活気のある夏祭りを

みなさんのご協力で、このお祭りも盛大に盛り上がりました。今年のお祭りでは、色々な出会いやふれあいがあったと思います。今回の経験を生かし、もっと活気や熱気のあるお祭りになったら最高だと思いませんか。来年もみんなが協力して、すばらしい夏祭りをやりましょう。



旭町祇園ばやし保存会の賑やかな演奏

熱気・活気が出た ぶじかわ夏まつり

「ふじかわ夏まつり」——去年から始まったこの夏まつりも第二回目を迎え、中央公民館や第一中学校グラウンドで開かれた数々のイベントは、町民みなさんのご協力により大勢の人で賑い、町全体が熱気に包まれ、すばらしいお祭りになりました。来年も、もっと活気のあるお祭りなるように、レポートしてみます。



富士川河原での音と光の祭典は夏の風物詩として親しまれています



裾野市の五龍太鼓の力強い打ち鳴らしに、会場も最高潮

これからの町づくり

望月和己さん（相生町） 34歳

子どもに「ジライヤを見せ」と頼まれて、会場にやってきました。

たくさんのお店が賑やかに並び、大勢の人が繰り出し、



とても盛況で、たいへんいいお祭りだと思ふ。近隣の大きなお祭りとは比べると規模的に小さいと思ふますが、アット・ホーム的な雰囲気、町全体で楽しむことが、これからの町づくりには必要ではないかと思ふ。広い運動場で、子どもも安心して楽しめました。しかし、若い人が盆おどりなどに積極的に参加すれば、もっと盛り上がるのでは……。

来年もこのお祭りを楽しみに

土橋克博さん（宮町） 30歳

富士川町が一体となり、これだけの人が集まることもないので、地域の活性化のためにも、このお祭りがこれからもずっと続き、他で見られない画期的なイベントになつたらいいと思います。

今年は、投げ松明や祇園ばやしなど、昔からの行事が取り入れられ、富士川町らしさが現われたお祭りだったと思



をする奏者も減少し、このままでは、長い伝統をもつ祇園ばやしも、消滅の一步前まできています。

そこで六人の会員で活動してきた旭町保存会で、昨年から会員を募集したところ、小学生八人と青年二人の応募があり、太鼓がないので、木でつくった手づくりの太鼓で月二回練習をして、「ひゅうとろばやし」「ばかばやし」など一通りの曲をマスターした。

会長の小泉さんは「今後もおはやしを絶やさないように努力したい」と話されています。

あむかわり 夏まつり

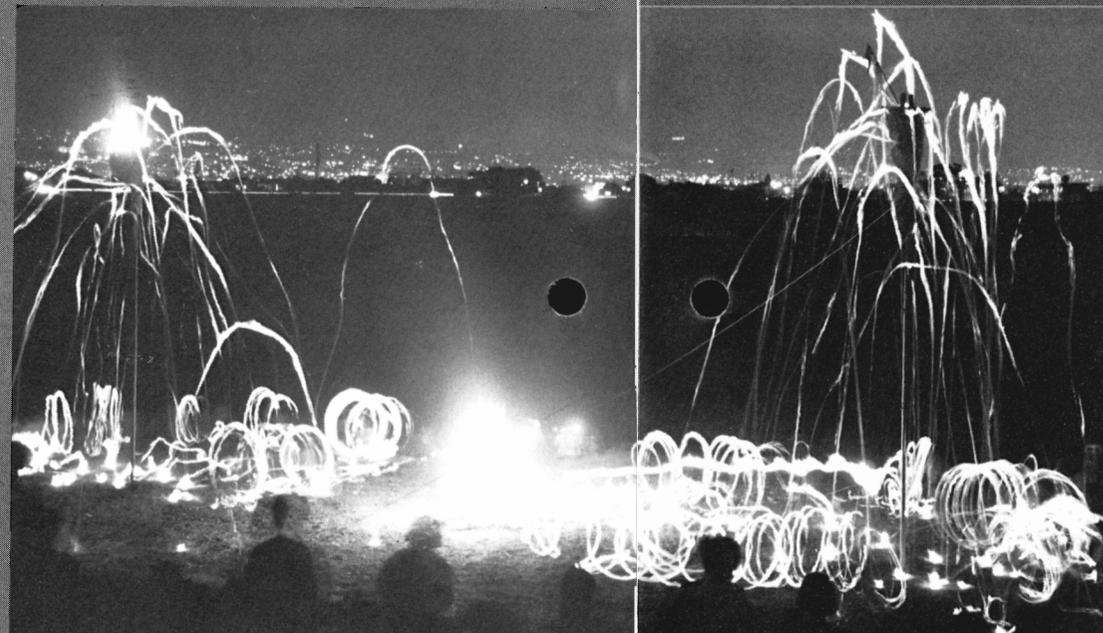
夜空に飛び交う 投げ松明

これは、古くから行われている柱松の行事の一変形で、柱松とは松明を杭のように立てた柱の先に結んで、夜間の照明にしたものです。これが平安時代末期頃から、仏の供養の行事として行われるようになりました。

町内でも、木島区と大北区で毎年旧盆に川供養の行事として富士川河原の水際で行われ、投げる松明の火が川の流れにも反映するので、非常に美しく、去りゆく夏の風物詩の一つです。

今回、この伝統ある「投げ松明」を木島区・大北区の協力を得て、富士川橋架替記念行事として役場職員の有志の手づくりで実演してみました。

丸木に2本の竹を縛るのには、藤づるを使い、こんなに力を入れても、切れません。昔の人の知恵には驚きます。



夜空に燃え上がるもじりと回転させながら投げられる松明の軌道は美しい絵になります。



竹を上手に使って、大きなもじりの骨組みをつくります。(大北方式)



竹の骨組みに麦わらを敷き詰める作業に、みんなの表情は真剣です



柱にもじりを取り付けます。



投げられた松明で、よく燃えるように願いをこめて、灯油をかけます。



高さは、13メートルにもなります。みんなの顔は、投げ松明が入るか心配そう。



細い竹を何本も組み合わせ、もじりの骨組みをつくります。(木島方式)



9月~10月の予定

9月

- 17(土) 一中・二中体育大会
- 18(日) 岩瀬保育園運動会
ふるさと教室(松野)
- 20(火) 郡小・中学生社会科研究発表会、お母さんの勉強室
町民体育大会競技役員打合せ会
- 21(水) 絵画教室
- 22(木) 町ゲートボール大会
- 23(金) 二幼・一小運動会
- 25(日) 新富士川紀行、二小運動会
- 26(月)~30(金) 一中、二中ナイター
一般開放
- 27(火) 陶芸教室、町民体育大会競技役員打合せ会
- 30(金) 郡中学生の主張発表会

10月

- 2(日) 第32回町民体育大会
- 5(水) 絵画教室
- 8(土) 文学講座
- 9(日) 一幼・さくら台幼運動会
ふるさと教室(松野)
- 10(月) 中体連新人戦
- 15(土) 源平富士川合戦(まつり)
(一小)

“緑と 碧と光の町づくり”にむけた 富士川 町の生涯学習を推進

生涯学習って?
一人ひとりが個性や能力を伸ばし、生活の向上を図るため、家庭教育と学校教育の基盤の上に、自発的意思に基づいて自分に適した手段や方法を自ら選んで行う学習—それが生涯学習です。



推進の組織づくり
生涯学習を推進するために、生涯学習推進運営委員・推進会議委員を行政・各種団体に依頼し、生涯学習の基盤づくり、地域活動の活性化、学習の場と機会の整備・情報システムの確立にむけて取り組めます。みなさんのご理解ご協力をお願いいたします。

いま、なぜ、生涯学習?
技術革新、情報化、国際化、高齢化など、今、社会は急激に変化しています。このような変化に対応して生きていくために、心豊かで充実した人生を送るために、生涯にわたって学び続けることが必要になっています。



推進の目標
生涯にわたって学び続けるようとする町民の学習活動を奨励し援助していくため、各分野におけるそれぞれの事業のあり方や方向を明らかにするとともに、町、市民、各種団体が一体となって、推進事業の調整・整備を行うことが目的です。

生涯をととしての学習の基礎は

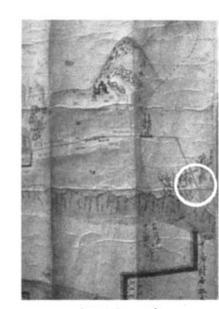
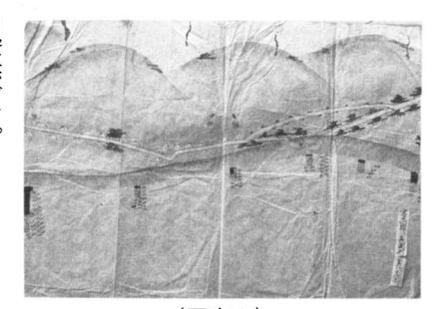
家庭
子どものしつけや親子のふれあい

学校
基本的知識の習得、自ら学ぶ意欲や態度の育成

中之郷村絵図から

富士川の急流が 東海道にも影響

みなさんは、岩瀬の一里塚で旧東海道が、なぜ不自然に直角に近くカーブしているのか、疑問を持ったことはありませんか?これは「雁堤」とそれによる富士川の流路の変化が原因しているとされています。というのは「雁堤」の完成後、富士川の流路が大きく富士川町側に変ったことにより、岩瀬から中之郷にかけての土地は、洪水のたびに激しく削られることになったからです。



これを証明するため、中之郷村絵図(写真1)を見ると、文政五年(一八〇八)夏に、現在のようにカーブしたと記されています。また、それには富士川が原因していることが「富士川通り岩瀬村御普請処絵図」(写真2)を見れば一目瞭然です。

なお、一里塚でカーブする前の東海道を、中之郷村絵図(延享四年・一七四七)で見ると、一里塚を通過後、その

まま民俗資料館の方へ、現在の国道一号線とほぼ同様に南下しています。東海道の付替

太陽がいっぱい

寺小屋学級で親子水泳教室

幼児期には、子供に自立心をつけることが大切だとわかります。そのためには、親子が子供との触れ合いを大切にしたい、子どもに体験、思考、選択させる機会を豊富にもたせることです。

さくら台幼稚園の家庭教育学級では、幼児教育の一貫として、八月三日、七日、八日の三日間、親子のふれあいを水に求めて、一小のプールで水泳教室を開きました。六十人の親子が、手をつないで歩いたり、水中での親子ホッピング、飛びつき、モーターボートなど、楽しい水遊びのプログラムに、プール狭しと水しぶきを上げました。



「お母さん、いま行くよ」

水泳教室が終って、お父さんやお母さんから「子供達が積極的になった。水を恐がらなくなった。二学期からの保育が楽しみ」などの感想が寄せられました。

楽しかった三日間の体験が子どもの自立心を養い、身体の発達や人格形成に、大きく役立っていると思います。

保健センター

来春オープンを 目指し、起工式



保健センター完成予想図



録入れの儀を行う常葉町長

八月二十二日(月)、午前十時から役場庁舎裏の建設用地において、常葉雅文町長、坪内伸浩議会議長、町内の医師、歯科医師や工事関係者など約六十人が集まり、鎌入れや鉄入れの儀式の後、玉串奉奠をして工事の安全を祈願しました。

この保健センターは、町民のみなさんが、気軽に健康相談や健康指導・健康診断を受けられる施設です。現在は病気になる前から治療するのではなく、日頃から自分の健康に留意し、健診や人間ドックなどにより、早期発見、早期治療の時代です。このセンターができれば、保健婦を中心とした健康教育や乳幼相談も、より充実した指導が行われます。

建物の概要は床面積五百四十八平方メートル、鉄筋コンクリート造、平家建て、総事業費は一億二、八三〇万円となっています。工事期間は来年の二月二十八日までで、四月から町民のみなさんの健康づくりの拠点としてスタートします。

健康だより (保健婦から)

子どもの料理教室

夏休みも半分が過ぎてしまった八月十二日(金)、エプロン姿の子どもたち二十人と、私たち保健婦、若鮎グループのお母さんが、第一小学校家庭科室に集まり、「子どもの料理教室」が開かれました。

当日のメニューは、かんだんカレーピラフ、スタッド・ピーマン、クレープです。子どもたちは額に汗を浮かべ、お母さんから料理の方法やコツを教えてもらい、真剣な表情で手を動かしていました。子どもたちの感想は「ピーマンが好きでなかったけど、今日作ったのは、おいしくできて、嫌いなものが一つ減りました」「いつもならお母さんが作ってしまおうけど、今日は自分で作ったり、友だちといっしょに作る事ができて、楽しかった」と、有意義な一日を過ごしたようです。

子どもの頃の食習慣は

最近では、数多くのインスタント食品やスナック食が回り、大人も子どもも安易に、それで間に合わせるという傾向があります。しかし、子どもの頃の食習慣が一生の健康を支配することを考えると、栄養のバランスのとれた食事をつくる楽しさ、食べることの喜び、そして食べ物の大切さを学ぶことは、必要な事だ

グループ紹介④

少年野球チーム「イーグルス」

このイーグルスは、野球好きなお小学生が集まり、七月から河川敷グラウンドで練習を開始しました。そこで、キャプテンの栗原俊次くん(新町本町)を中心に、イーグルスのみんなに話を聞きました。



現在、選手は二十四人で、松野地区からも八人の子どもたちが入っています。練習は毎週一回、日曜日の午前八時から十時まで河川敷グラウンドで行われ、青で統一されたユニフォームも出来上がり、みんなの闘志が盛り上がっています。

一生懸命練習して 強力なチームに

富士川地区の子どもたちは河川敷のグラウンドまで、マラソンや徒歩で駆け付けます。練習は、グラウンド内のランニングから始まり、キャッチボール、ノックなどの基本的なトレーニングですが、ボールを追いかけて、練習が終る頃にはユニフォームも真黒。「広い場所で、みんなが好きな野球ができて楽しく、練習が終ってしまおうと、次の練習が待ち遠しい」まだまだ、みんな技術的にも上手ではないけど、一生懸命練習して、対外試合のできるチームにしたい」と夏の太陽の下、汗いっぱいの顔でみんなは話してくれました。

夢は 少年野球カップ

チーム内のポジションは、まだ決まっています。今は野球の基礎と体力をつけることに重点をおき、一人ひとりの技術を高めるように、練習に取り組んでいます。

このチームの夢は、少年野球カップに出場することです。この夢に向かって、イーグルスの少年たちは、白球を追いつけていきます。

よいチームワークを 目指して

キャプテンの栗原くんは、「まだ、チームワークができていないので、みんなが協力して、強いチームにしたい。そして、一日も早く試合をして、勝利の気分を味わいたい」と抱負を話してくれました。

俳句会 <文協俳句会>

緊張の機内ほぐれてさくらんぼ	大北町	川崎 麻子
添寝して熱のある児よ明易し	富士見町	清水 淑子
おひ母の矢の字小さく単帯	東町二	加藤 京子
立葵屹然と留守もることし	上町	斉藤つね子
馬刺食む土蔵造りや腹蔵	幸町	小林 正子
華送の片陰に人寄りやすく	幸町	浦田たみ子
時差采けに歩む酷暑のワシントン	幸町	奥野賀寿子
崖湿り花むらさきの岩煙草	富士見町	佐野 謹子
白仔猫馳せ登りけり桃の花	八幡町	望月 富子
鉄風鈴みちのくの風届くごと	上町	勝呂 恵子
紫蘇そえて病夫にまいらす冷奴	木島	角替英美子
初嵐忌まつりすみし寺の庭	八幡町	望月スミ江
山門の鯨高だかと青嵐	大北町	大津かほ子
遠雷やうつつに返る終風呂	木島	斉賀 圭子
売出しのレジに日焼の腕並び	俵下町	望月 英子
盆花に紫揚羽母来るや	俵下町	中川千枝子
紫蘇もんで生命線を濃くしたり	木島	望月 今江

8月の交通事故

人身事故	9件(9)	合計	25件(18)
物損事故	16件(9)		
富士川身延線	19件(2)		
国道一号线	7件(5)		
町道	6件(9)		
県道	1件(0)		
その他	2件(2)		

()は昨年

戸籍の窓

S・63・7・15〜8・14届出分

おめでた

かなしみ

一里塚



我家の長男も、あと一カ月で満一歳になるうとして、

時間がたつのは早いもので、

触るとこわれそうな小さな赤ちゃんが、今では一人て家の中をハイハイしている。

この子の将来を考えると、自分が歩んできた道よりも、

もっと険しい道を歩まなければならぬと思えます。それは、

現在の子どもたちが一流の大学・会社に入ることを目

標とした勉強や他人を蹴落と

してでも競争に勝つことを、親のエゴで子どもに強制して

いるからです。

他人に勝つことばかり教えられ、偏差値で人間の価値を決めてしまうこの世の中。人間にとつて大切な「他人を思いやる心」が失われているように感じられます。我子には、「他人を思いやるやさしさ」を、いつまでも持ち続けてもらいたい。また、このような人間に育てなくては……。

(望月信洋)

町への寄付金(敬称略)

S・63・7・19〜8・17

交通安全事業へ

三十万円 松野砂利販売(有)

代表 大内雄一郎

社会福祉事業寄付金

二万円 風岡 博(大北町)

六千円 静岡銀行富士川支店

二万五千元

明るい社会づくり運動

静岡県協議会富士川支部

一万六千八百円

富士川町消費者研究グループ

プ

三万円 関原 敦(幸町)

善意銀行へ寄託

衣類 斉藤健次(舟山町)

一万円 第一・第二太子会連合

お母さんの知恵袋

冷蔵庫の正しい使い方は九月は、食中毒が一番多い月です。そこで冷蔵庫の正しい使い方を再確認してみましょう。

一、冷蔵庫は、あくまで短時間貯蔵庫です。細菌は冷蔵凍結では死にませんので、過信は禁物です。先入れ先出しの励行を。

二、細菌汚染防止のために、食品にはラップを。

三、適正温度に庫内を保つ事が大切です。

四、詰めすぎて冷気の流れを悪くしないように、収納は七割に。

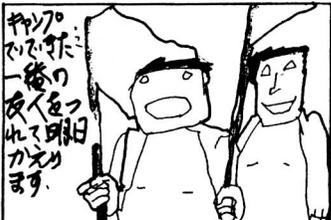
五、細菌・カビなどで、思ったより汚れているので、週一回ぐらいの清掃を。

六、室温が三十度の時、ドアを十秒あけると庫内は十度以上あがります。開閉は、少なく短かく。

(望月)

お母さん

星の子 205



区名	氏名	保護者続柄	
木島角替	恵康彦	長女	
木島佐藤千元	由直	長女	
吉津齋藤潤哉	敏	長男	
坂下藤生	学憲治	二男	
東町一	小澤康輔	伸行	長男
東町二	前田和俊	眞吾	長男
南町一	小泉奈津美	朝晴	長女
南町二	井出慎哉	謙一	長男
八幡町	桐山大樹	豊樹	二男
清水町	田下竜典	広義	長男
清水町	佐野 愛	圭紀	長女

区名	氏名	年齢
小山	植松角次郎	八五
小山	小林たみ	二〇
上町	小野てる	七〇
上町	植松三郎	七八
坂下	池谷貞太郎	八四
旭町	太田桂一	七九
旭町	秋山萬造	八八
堺町	大石茂作	七五
本通	竹内忠次郎	四〇
南町一	四條 透	八三
八幡町	稲葉藤三	六九
八幡町	杉山良作	七一
八幡町	井上一郎	八〇
俣下町	森川富次郎	六六

我が家の長男も、あと一カ月で満一歳になるうとして、時間がたつのは早いもので、触るとこわれそうな小さな赤ちゃんが、今では一人て家の中をハイハイしている。この子の将来を考えると、自分が歩んできた道よりも、もっと険しい道を歩まなければならぬと思えます。それは、現在の子どもたちが一流の大学・会社に入ることを目標とした勉強や他人を蹴落とすことを、親のエゴで子どもに強制して